

# NIE 土曜サロン

第30回 東京・銀座の読売新聞東京本社9階会議室で



## 「見出しは8～10文字」 記者に学ぶ

第30回NIE土曜サロンが6月25日、読売新聞東京本社(東京・銀座)で開かれ、新聞活用に関心のある5都県の教諭ら約20人が集まり、授業に生かす新聞について意見を交わした＝写真＝。

ざっくばらんに授業での新聞活用などについて考える同サロンには、今回、小中高教諭のほか、教育実習生や家庭教師、図書館司書も参加。この日は、読売新聞記者から、新聞紙面を作るときの基本の話があった。「見出しは8文字から10文字ぐらいでつけると見やすい。一瞬で見られるという、人の目の能力から考えられる文字数で、少ない方が読みやすく、多すぎると読みづらい」という説明が実際の新聞を使って行われ、先生たちがメモを走らせていた。

また、この日付けの新聞を使って、「どんな授業ができるか考えてみよう」と鹿野川喜代美・NIE企画デザイナーが提案し、10分ほどそれぞれ思案。教育実習生からは「避難所の食中毒注意」の記事を使って、高学年から低学年まで家庭科の授業で使えるのではと提案があり、即興にもかかわらずユニークな授業案に感心する声が上がっていた。

NIE土曜サロンは2008年1月以来、原則的に「毎月第4土曜日の午後2時～4時」に開催。7月は夏休み親子新聞教室(7月23、30日)と重なるため休みで、次回は8月

27日。事前申し込みが必要。

(住吉由佳)

